



平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年6月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ

コード番号 3174

URL <http://www.happiness-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田 泰夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長

(氏名) 追川 正義

(TEL) 03-3562-7521

四半期報告書提出予定日 平成30年7月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の業績（平成29年9月1日～平成30年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第3四半期	15,335	4.7	487	△3.3	471	△2.4	281	16.7
29年8月期第3四半期	14,635	11.5	504	122.0	483	140.1	240	201.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第3四半期	112.86	107.92
29年8月期第3四半期	95.44	92.16

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第3四半期	10,203	2,370	22.5
29年8月期	9,664	2,107	21.2

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 2,296百万円 29年8月期 2,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
30年8月期	—	0.00	—		
30年8月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,271	5.8	601	14.4	581	16.9	311	46.6	124.77

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期3Q	2,532,400株	29年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	30年8月期3Q	40,048株	29年8月期	40,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期3Q	2,492,369株	29年8月期3Q	2,524,239株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、個人消費は、高額品を中心とした持ち直しの動きがみられるものの、消費者の根強い節約志向に加えて、2月の米国長期金利上昇に端を発した株式市場の急落もあり、下押しリスクも懸念されております。また、景気回復基調が続く中、人材採用難の長期化が大きな経営課題になっております。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と既存店対策、オリジナルブランド Happy Candle（ハッピーキャンドル）・H&D（エイチ アンド ディ）の確立、EC（ネット通販）事業の拡大及び従業員の働き方改革や社会貢献活動等を通じた企業イメージの向上を当事業年度の重点課題として取り組んでおります。

店舗展開につきましては、上半期には松本店、岡山店、つがる柏店、甲府昭和店の4店舗、下半期に入って、3月に座間店を新規出店いたしました。さらに、バッグ・小物を中心とした新業態の1号店となる Le Bonheur Parfait（ル・ボヌール パルフェ）イオンレイクタウンmori店を3月に新規出店いたしました。また、既存店舗の活性化として、幕張新都心店の増床、宮崎店・パルナ店の移転改装、鹿児島店・福岡店・草津店等のオープン什器設置や時計コーナー新設等、合計14店舗の改装を実施いたしました。

営業施策につきましては、お客様に手に取って選んでいただけるオープン陳列の売り場展開、値ごろ感のある価格帯の商品拡充を継続し、6店舗の新規出店にあわせた協賛セール、高額商品の予約販売会やジュエリー・イタリアブランド等の販促キャンペーンを実施いたしました。

オリジナルブランド商品につきましては、シーズンの新作リリースにあわせたファッション誌とのタイアップ企画を実施し、ビジュアル面を強化した売り場を展開したことで、計画を上回る販売実績となりました。

ECにつきましては、前年度に引き続き大手通販サイト内の店舗の改善、自社サイトのスマートフォン対応の強化、買い上げ率向上策やオリジナルブランド商品強化を実施いたしました。

働き方改革につきましては、在職1年以上の準社員・正社員を対象としたストックオプションを発行するとともに、店舗スタッフの年間休日数の拡大や待遇改善に取り組み、従業員のモチベーションアップにつながる人事施策を実施いたしました。これらの施策は、新規採用数の増加と退職者数の減少につながっております。

商品部門別の売上の状況は以下のとおりです。

- ・宝飾品は、催事等による販売強化に加え、人気商品の展開やオリジナルブランド商品を強化したことにより、売上高 2,583,407千円（前第3四半期累計期間比 4.1%増）となりました。
- ・時計は、高額海外ブランドの販売が引き続き好調に推移し、売上高 4,722,973千円（同 13.7%増）となりました。
- ・バッグ・小物は、一部海外ブランドの不振があったものの、その他のブランドやオリジナルブランドの販売に注力したことで、売上高 8,029,458千円（同 0.3%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は 15,335,840千円となり、前年同期売上高 14,635,774千円に対して 4.7%増となりました。営業利益は 487,950千円となり、前年同期営業利益 504,643千円に対し 3.3%減となりました。これは、将来の成長を意図した上記の働き方改革や新規出店により、人件費や地代家賃等の販売管理費が増加したことによるものです。同様に、経常利益は 471,607千円となり、同2.4%減となりました。四半期純利益は、前年同期と比べ、特別損失が少なかったことにより 281,294千円となり、同 16.7%増となりました。

なお、当社の業績は、クリスマス時期を中心とした年末年始商戦のウエイトが高くなっているため、四半期決算としては第2四半期の占める比重が高くなっております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、8,343,808千円となり、前事業年度末と比較して333,574千円増加しております。これは主として、現金及び預金が1,181,385千円減少したものの、商品が1,512,240千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,859,948千円となり、前事業年度末と比較して205,548千円増加しております。これは主として、建物が132,706千円、工具、器具及び備品が14,341千円、敷金及び保証金が51,196千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、4,001,937千円となり、前事業年度末と比較して66,571千円増加しております。これは主として、1年内返済予定の長期借入金が26,183千円、未払法人税等が66,307千円、その他が52,019千円減少したものの、仕入債務(支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計)が216,194千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、3,830,856千円となり、前事業年度末と比較して209,406千円増加しております。これは主として、長期借入金が190,268千円増加したことが要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,370,962千円となり、前事業年度末と比較して263,144千円増加しております。これは主として、利益剰余金が243,908千円増加したことが要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月12日に公表いたしました平成30年8月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,904,386	1,723,001
売掛金	924,684	856,228
商品	3,929,246	5,441,486
貯蔵品	116,753	116,438
その他	135,164	206,653
流動資産合計	8,010,233	8,343,808
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	660,413	793,120
構築物(純額)	19	16
工具、器具及び備品(純額)	260,138	274,480
リース資産(純額)	6,812	2,760
有形固定資産合計	927,384	1,070,377
無形固定資産		
ソフトウェア	19,138	25,588
無形固定資産合計	19,138	25,588
投資その他の資産		
敷金及び保証金	560,854	612,050
その他	147,258	151,931
貸倒引当金	△236	-
投資その他の資産合計	707,877	763,982
固定資産合計	1,654,400	1,859,948
資産合計	9,664,634	10,203,757

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	973,653	1,159,874
電子記録債務	330,705	360,679
1年内返済予定の長期借入金	1,751,602	1,725,419
未払法人税等	163,762	97,454
賞与引当金	100,200	102,788
ポイント引当金	11,872	8,496
資産除去債務	4,326	-
その他	599,244	547,224
流動負債合計	3,935,365	4,001,937
固定負債		
長期借入金	2,954,358	3,144,626
資産除去債務	183,688	201,030
その他	483,403	485,200
固定負債合計	3,621,449	3,830,856
負債合計	7,556,815	7,832,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金	312,747	312,747
利益剰余金	1,448,383	1,692,291
自己株式	△35,791	△35,863
株主資本合計	2,050,736	2,294,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△302	1,815
評価・換算差額等合計	△302	1,815
新株予約権	57,384	74,574
純資産合計	2,107,818	2,370,962
負債純資産合計	9,664,634	10,203,757

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日)
売上高	14,635,774	15,335,840
売上原価	11,093,282	11,678,795
売上総利益	3,542,491	3,657,044
販売費及び一般管理費	3,037,848	3,169,094
営業利益	504,643	487,950
営業外収益		
受取利息	175	159
受取配当金	654	916
業務受託料	842	702
受取保険金	419	1,580
為替差益	1,193	-
その他	1,774	1,591
営業外収益合計	5,059	4,951
営業外費用		
支払利息	24,122	20,035
その他	2,032	1,258
営業外費用合計	26,155	21,293
経常利益	483,547	471,607
特別損失		
固定資産売却損	1,093	-
固定資産廃棄損	16,988	9,931
減損損失	30,499	-
店舗閉鎖損失	10,500	-
投資有価証券償還損	853	-
特別損失合計	59,935	9,931
税引前四半期純利益	423,612	461,676
法人税、住民税及び事業税	163,998	165,451
法人税等調整額	18,681	14,931
法人税等合計	182,679	180,382
四半期純利益	240,932	281,294

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。